

# 日本ピア・サポート学会

## 第13回 総会・研究大会のご案内

ーピア・サポートが未来に果たす役割と可能性を探るー

期日：平成26年10月12日（日）・13日（祝月）

主催：日本ピア・サポート学会 主幹：日本ピア・サポート学会新潟支部

後援：日本学校教育相談学会・新潟県教育委員会・新潟市教育委員会（予定）

会場：新潟青陵大学・朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

### ご挨拶

日本ピア・サポート学会が誕生し13年目を迎えました。昨年度は、本学会において初めて選挙による役員選出が行われ、新体制での学会運営がスタートしました。この度、その記念すべき第13回総会・研究大会を新潟にて開催する運びとなりました。この新潟大会では、大会運営の新たなスタイルの試みとして、日本ピア・サポート学会新潟支部が主幹となり、中部支部、南関東支部の協力を得て開催いたします。さらに、これまでの分科会研究発表に加え、気軽にご自身の実践を発表し交流する場として「ポスター発表」を実施します。その他、会員でない方にも、日本ピア・サポート学会の研究・実践活動に関心をもっていただけるよう、会員外限定ワークショップや会員外参加費を設定しました。

是非、学生の方や同僚、ピア・サポート活動に興味を持っておられるお近くの方にお声かけいただければ幸いです。

また、今大会2日目には、「ピア・サポートが学力向上に果たす役割ー真の学力を身につけさせるにはー」と題して、シンポジウムを開催いたします。

包括的ガイダンス&カウンセリングに造詣が深く香港の教育をリードする第一人者である Dr.Chan Mow-Chiu Raymond（香港バプテスト大学准教授）、人間関係を基盤とした教育づくりや授業改善、協同学習を専門に研究されている 杉江修治先生（中京大学教授）をはじめ、本学会特別会員 バーンズ亀山静子先生（NY州公認スクールサイコロジスト・早稲田大学講師）、常任理事 栗原慎二先生（広島大学大学院教授）をシンポジストに、常任理事 春日井敏之先生（立命館大学教授）を指定討論者にお迎えし、「学力向上」を切り口に、ピア・サポートの果たす役割や「学力向上」のために、何が大事なのか、何をしなければならないのかを参会者全員で考える機会にしたいと思っております。

それぞれの会場からは、日本海が眺望でき、秋の夕暮れ、日本海に沈む夕日はとりわけ美しく映えわたります。

第13回総会・研究大会現地実行委員会一同、多くの会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第13回総会・研究大会現地実行委員会委員長 中林浩子

# 第13回 総会・研究大会概要

## 1 プログラム

1日目▶10月12日（日） 会場 新潟青陵大学6号館

10/12 (日)	8:30	9:00～12:00	12:00～13:30	13:30～17:25	移動	18:30～20:30
	受付	ワークショップ	昼食・休憩 <b>【総会】</b> 12:30～13:20	研究発表 (分科会)		情報交換会
			ポスター発表・展示 A:13:30～14:05、15:30～16:05 B:14:10～14:45、16:10～16:45			

### □ ワークショップ 5部会【10月12日(日) 9:00～12:00】

#### 第1部会 海外の生徒指導の動向と包括的生徒指導の実際

講師：栗原 慎二（広島大学大学院教授）

生徒指導上の問題は、より広範で深刻なものに変化しています。私たちはこうした問題に日々頭を悩ませ、対応に追われています。しかしちょっと視点を変えると、「きちんと成長している児童生徒は問題をあまり起こさないし、起こしてもそれを反省し、成長の糧にする」わけです。生徒指導の本質は、児童生徒をそのような人間に成長させることです。包括的生徒指導はこうした考え方に基づくもので、世界では標準的なものになりつつあります。本WSでは、この包括的生徒指導について理論と実践を紹介し、日本における包括的生徒指導の可能性を探ります。

#### 第2部会 いじめや不登校の対応に活かすサポートグループ・アプローチの実際

講師：八幡 睦実（北海道小樽市望洋台中学校養護教諭）

複雑な人間関係が絡むいじめや不登校等の問題は、加害者や被害者だけではなく観衆や傍観者などの存在も大きく、大人の介入や子ども達だけでは解決困難な事例も少なくありません。解決志向アプローチの考え方や方法と子ども達のピア（仲間支援）の力を最大限活す「サポートグループ・アプローチ」は、支援を必要としている子どもが再び笑顔を取り戻し幸せになることを一心に願い、加害者や傍観者も含めたサポートグループが温かな人間関係を育みながら課題解決していく方法です。予想以上の変化を生むこの方法の実際から、実践への活用・応用に活かすためのWSとします。

#### 第3部会 学校における修復的アプローチの理論と実際

講師：池島 徳大（奈良教育大学大学院教授）

いじめ問題の解決は、世界のどの学校でも取り組まれている喫緊の課題です。ヨーロッパ圏のいじめ研究の第一人者であるピーター・スミス教授は、かつて、「いじめは対人関係上の問題である」と述べていますが、解決の鍵を握っているのは、やはり「人」です。今回取り上げる修復的アプローチは、対話を通して、傷ついた人間関係の修復を図る取り組みです。ワークショップでは、最近注目されている修復的正義（リストラティブ・ジャスティス）の理論的背景等について解説し、また、いじめの心理理解を踏まえながら、その実際について検討したいと考えています。

<ピア・サポート・トレーナー養成WS受講者限定講座>

第4部会 ピア・サポート活動の展開をマネジメントしよう！

講師：菱田 準子（大阪教育大学准教授）

この部会は、ピア・サポート・トレーナー養成ワークショップを受講された方を対象にしています。具体的にどのように取り組んでいけばいいのか、なかなか一歩踏み出せていない方もいらっしゃると思います。活動するときは、ニーズを把握し、ニーズを満たすことが基本ですが、そのニーズは対象者と実践者・組織のニーズでもあります。参加された方のミッション、バリュー、パッションを明確にしながら夢を具体的レベルに落とし込みながら、みなさんの課題解決の力を高めていきたいと思っています。

<初めてのの方のための限定講座>

第5部会 ピア・サポート入門 やってみようピア・サポート！

講師：高野 利雄（栄光学園中高、宝仙学園中高スクールカウンセラー）

「ピア・サポートって何？」という初めての方に、考え方、指導法、実践事例、資格認定までの全体像をお伝えします。

学校現場にあるさまざまな問題を解決する当事者は子どもたちで、教師のすることは子どもたちが解決していけるように指導と援助をすることです。このことは教育のパラダイムを変えるほどの大きな内容をふくんでいますが、学習者は子どもたちであることを思えば当然のことです。教師は何を心得る必要があるか、そのヒントがピア・サポート活動にありますので、一緒に学んでいきたいと思っています。

□ 総 会 【10月12日(日) 12:30～13:20】

平成25年度の学会活動報告と平成26年度活動計画案を提案し、今後の本学会のすすむべき方向について、会員のみなさまと共に共通理解を図りたいと思います。あらかじめ、お弁当を予約販売いたします。会場には、お弁当や昼食をお持ちいただいてもかまいませんので、お気軽にご参加ください。

□ 研究発表（分科会方式） 【10月12日(日) 13:30～17:25】

1発表35分（発表20分＋質疑応答及び座長からのコメント15分）×6展開、移動5分とします。分科会は9会場を用意し、そのうち1会場で、第12回大会から実施した「大学生部会」を開催します。発表要件やエントリーの方法は、後ページに記載しますので、ご確認ください。

□ ポスター発表 【10月12日(日) 13:30～17:00】

研究や実践の発表・交流の場として、ポスター発表を開催します。ポスター掲示は、3時間半としますが、発表者の在席責任時間を設定しています。多くの方に足を運んでいただけるようにしました。発表要件やエントリーの方法は、後ページに掲載しますので、ご確認ください。

□ 情報交換会（懇親会）

懇親会を大会1日目の夜に開催します。懇親会はどなたでも参加できます。当日の参加もお受けしますが、できるだけ事前に参加申込みと参加費の振り込みをお願いします。会場は、明治7年創業、今年で140周年を迎えた「イタリア軒」です。新潟古町に位置し、会場の新潟青陵大学及び朱鷺メッセコンベンションセンターへのアクセスも容易です。1日目の大会終了後、新潟青陵大学からホテルイタリア軒まで、送迎バスを運行します。

日 時：10月12日(日) 18時30分～20時30分

会 場：ホテル イタリア軒 新潟市中央区西堀通7番地1574 TEL 025-224-5111

## 2日目▶10月13日（祝月） 会場 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

第13回新潟大会記念シンポジウム 9:00～13:00

	8:30	9:00～13:00
10/12 （祝月）	受付	第13回新潟大会記念シンポジウム テーマ 『ピア・サポートが学力向上に果たす役割 —真の学力を身につけさせるためには—』 ◇特別講演：Dr.Chan Mow-Chiu Raymond（香港バプテスト大学准教授） ☆シンポジスト：杉江 修治氏（中京大学教授） ☆シンポジスト：バーンズ亀山静子氏 （NY州公認スクールサイコロジスト・早稲田大学講師） ☆シンポジスト：栗原 慎二氏（広島大学大学院教授） ◇指定討論者：春日井敏之氏（立命館大学教授） ◇全体進行：中林 浩子（新潟市立大形中学校教頭）

## 2 研究発表およびポスター発表

### (1) 研究発表（分科会での発表）

ご自身の研究および実践について、口頭発表で行います。連名で発表する場合、発表者のうちの一人を「責任発表者」とし、他の連名の方を「連名発表者」とします。

#### 1) 発表方法と発表論文集原稿

- ①ご自身の発表内容から、以下に定める領域を選択してください。  
ア、学校（幼・小・中・高・大・特支） イ、地域・コミュニティ ウ、行政  
エ、医療・企業 オ、現役大学生実践交流 カ、その他
- ②発表は、口頭発表としますが、プレゼンテーション、映像機器などの使用は、発表者にお任せします。発表等に必要なパソコンは、各自ご用意ください。
- ③1実践1発表の持ち時間は、35分とし、発表20分、質疑および座長からのコメントを15分とします。
- ④発表論文集原稿は、1発表につきA4版1ページです。エントリー後に「発表論文集原稿作成テンプレート」をメールもしくは郵送にて送付します。その際、倫理規定、その他書き方を参考にしながら、期限までに作成、提出してください。

#### 2) 口頭発表要件

以下の条件を満たすことによって、正式発表を認めます。

- ①発表論文集へ論文を掲載すること。
- ②日本ピア・サポート学会の会員であること。（26年度までの年会費を納めていること。）
- ③連名で発表する場合、責任発表者および筆頭者は会員に限ります。連名発表者は会員でない方も可とします。その場合、責任発表者は、会員でない方の発表費（1人につき5,000円）をまとめて振り込んでください。
- ④責任発表者が発表できなくなった場合は、現地大会実行委員会委員長へ連絡してください。その場合、連名発表者が会員であれば代わりに発表することができます。会員でない連名発表者が代わりに発表する場合には、発表までに入会を申請し、理事会の承認を得てください。責任発表者と連名発表者がともに発表できない場合は、発表取り消しとなります。
- ⑤責任発表者になるのは、一人1回に限ります。ただし、連名発表者についてはこの限りではありません。
- ⑥会員でない連名発表者が会期を通してWS・総会・研究大会等に参加される場合は、別途参加費が必要です。会員でない方も、割引が適応される事前申込みができますのでご利用ください。（4の「事前参加申し込み等の手続き」参照）
- ⑦同一の研究・実践についての発表は、2発表までとします。
- ⑧プログラム編成の都合から、連名発表者の発表時間が重なってしまうこともありますので、あらかじめご了承ください。

## (2) ポスター発表

ご自身の研究・実践について、ポスター発表で行います。連名で発表する場合、発表者のうちの一人を「責任発表者」とし、他の連名の方を「連名発表者」とします。

### 1) 発表方法と発表論文集原稿

- ①発表内容をポスター形式で掲示し、質疑に対する応答をします。ポスターを掲示するパネルの大きさは、横 90 センチ×縦 180 センチです。
- ②ポスター掲示の時間は、13:30～17:00 とします。発表者の在席責任時間は、ポスター番号奇数の方(A)は、13:30～14:05 と 15:30～16:05、ポスター番号偶数の方(B)は、14:10～14:45 と 16:10～16:45 です。その他の時間は、在席する必要はありません。
- ③発表論文集原稿は、1発表につきA4版1ページです。ポスター発表の要旨をお書きください。体裁は、エントリー後にテンプレートをメールもしくは郵送にて送付しますが、口頭発表と同様の形式かパワーポイント等での形式でも構いません。その際、倫理規定、その他書き方例を参考に期限までに作成、提出してください。

### 2) ポスター発表要件

以下の条件を満たすことによって、正式発表を認めます。

- ①発表論文集へ論文もしくは資料を掲載すること。
- ②責任発表者及び筆頭者は、日本ピア・サポート学会の会員であること。(26年度までの年会費を納めていること。)
- ③連名で発表する場合、責任発表者および筆頭者は会員に限ります。連名発表者は会員でない方も可とします。その場合、責任発表者は、会員でない方の発表費(1人につき3,000円)をまとめて振り込んでください。
- ④責任発表者が発表できなくなった場合は、現地大会実行委員会委員長へ連絡してください。その場合、連名発表者が会員であれば代わりに発表することができます。会員でない連名発表者が代わりに発表する場合には、発表までに入会を申請し、理事会の承認を得てください。責任発表者と連名発表者がともに発表できない場合は、発表取り消しとなります。
- ⑤責任発表者になるのは、一人1回に限ります。ただし、連名発表者についてはこの限りではありません。
- ⑥会員でない連名発表者が会期を通してWS・総会・研究大会等に参加される場合は、別途参加費が必要です。会員でない方も、割引が適応される事前申込みができますのでご利用ください。(4の「事前参加申込み等の手続き」参照)
- ⑦同一の研究・実践についての発表は、4発表までとします。
- ⑧プログラム編成の都合から、連名発表者の発表時間が重なってしまうこともありますので、あらかじめご了承ください。

## 3 発表者の要件 (責任発表者)

### (1) 現在会員の方

- 1) 2014年度の年会費を2014年5月30日(金)までに振り込み、別紙1「発表申込エントリー用紙」を6月30日(月)までに、メールで送信もしくは郵送してください。発表者・責任発表者・連名発表者のいずれにもなることができます。

### (2) 現在未入会の方

- 1) 2014年5月23日(金)までに日本ピア・サポート学会事務局へ入会の申込みをしてください。(承認後に、入会金および年会費の払い込み取り扱い票および、別紙1、2等諸手続に関するご案内をお送りします。)入会後は発表者・責任発表者・連名発表者のいずれにもなることができます。
- 2) 会員でない方の発表者の要件  
発表は、責任発表者を通じて発表費を振り込んでいただければ、口頭発表もポスター発表も、連名発表者として可能です。

## 4 事前参加申込み等の手続き

- (1) 研究発表（口頭発表）・ポスター発表の申込みは、別紙1「発表申込エントリー用紙」に必要な事項をご記入のうえ、メールまたは郵送にてご送付ください。

※日本ピアサポート学会のHP「第13回総会・研究大会案内」からダウンロードできます。

● 申込締切日 2014年6月30日(月)

● 申 込 先 日本ピア・サポート学会新潟支部  
第13回総会・研究大会 現地実行委員会 委員長 中林浩子 宛  
〒950-2022 新潟市西区小針 1-41-10  
E-mail : niigata.cocoronet@gmail.com

エントリーを確認次第、現地実行委員会から「発表論文集作成テンプレート」をお送りします。  
発表内容の登録、発表論文集原稿の提出期限は、2014年7月14日(月)～8月4日(月)です。

- (2) 大会参加の申込みは、別紙2「事前参加申込書」に必要な事項をご記入のうえ、郵送またはFAXにてご送付ください。

※日本ピアサポート学会のHP「第13回総会・研究大会案内」からダウンロードできます。

● 申込締切日 2014年9月1日(月)

● 申 込 先 ㈱JTB 関東 法人営業新潟支店内「日本ピア・サポート学会」係  
〒950-0082 新潟市中央区東万代町 1-30-3F  
TEL : 025-255-5101 FAX : 025-248-7687 E-mail : niigata\_ec@kanto.jtb.jp

## 5 諸費用振り込みの手続き

研究発表（口頭発表）・ポスター発表および大会参加のお申込みをいただいた方には、9月中旬までに請求書、予約確認書等を送付させていただきますので、請求書記載の指定銀行までお振込みください。

なお、振込手数料は、申込者各自のご負担をお願いいたします。また、内地留学生の方は一般に含みます。

● 振込み期日 2014年9月22日(月)まで

◇総会・大会参加費（振込取扱票で振込か、当日会場でお支払いください。）

会 員 の 方	事前振込	7,000円	／	当日支払	8,000円
会員でない方	〃	8,000円	／	〃	8,000円
学生・院生	〃	3,000円	／	〃	4,000円

◇懇親会参加費

一般の方	5,000円
学生・院生	3,000円

◇昼食代 10月12日(日) 弁当・お茶 1,000円

◇研究発表（口頭発表）

会員無料

会員でない方の連名発表費（一人1発表ごと）

一般・内地留学生	5,000円
学生・院生	3,000円

※責任発表者の方は、会員でない方の連名発表費をご自身の事前参加費と一緒に振込みください。

◇ポスター発表

会員無料

会員でない方の連名発表費（一人1発表ごと）

一般・内地留学生	3,000円
学生・院生	1,500円

※責任発表者の方は、会員でない方の連名発表費をご自身の事前参加費と一緒に振込みください。

**会員外特別参加費** 本総会・研究大会では、会員でない方にも本学会の研究活動に関心をもっていただけるよう、以下のように「会員外特別参加費」等を設定しましたので、会員の皆さまから学生の方やお近くの方にお声かけください。

◇会員でない方の参加費（当日会場にて受け付けます）

○12日(日) 9:00～12:00

ワークショップ参加……………一般・内地留学生 3,000円／学生・院生 2,000円

○12日(日) 13:30～18:00

研究発表・ポスター発表参加……………一般・内地留学生 2,500円／学生・院生 1,000円

○13日(月) 9:00～13:00

特別企画シンポジウム参加……………一般・内地留学生 2,500円／学生・院生 1,000円

\*会員でない方で、口頭発表およびポスター発表をされる方は、発表するプログラムの参加費は必要ありません。

## 6 発表申込み・原稿提出・諸費用振込の締め切り

発表申込み（発表者エントリー）…………… 2014年6月30日(月)まで

発表内容の登録・発表論文集原稿の提出…………… 2014年7月14日(月)～8月4日(月)の間

諸費用の振込み…………… 2014年9月22日(月)まで

## 7 研究大会発表論文集の送付および購入

発表論文集は、申込み数に応じて印刷し、申込みのあった会員の方に送付します。会員外の方で希望される方には、1冊1,000円で販売します。会員外の方で購入を希望される方は、別紙2「事前参加申込書」によりお申し込みください。

申込み期限 2014年9月1日(月)

振り込み期限 2014年9月22日(月)

発表論文集の送付 2014年9月24日(水)～10月1日(水)に発送予定

## 8 その他

(1) 宿泊について（重要!!!）

《宿泊のご案内》

宿泊期間／2014年10月11日(出)～10月12日(日)

ホテル名	部屋タイプ	宿泊料金	申込記号	アクセス
ホテルイタリア軒	シングル	10,000円	A	新潟駅から車で10分
万代シルバーホテル	シングル	9,000円	B	新潟駅から徒歩7分
新潟東急イン	シングル	8,500円	C	新潟駅から徒歩1分
ホテルサンルート新潟	シングル	8,500円	D	新潟駅から徒歩3分
新潟第一ホテル	シングル	7,500円	E	新潟駅から徒歩3分
新潟東映ホテル	シングル	8,000円	F	新潟駅から徒歩5分
コートホテル新潟	シングル	7,000円	G	新潟駅から徒歩5分

※宿泊料金はお一人様1泊朝食付き（サービス料・税金込み）となります。

※ホテルは先着順となっております。満室の場合は上記以外のホテルになる可能性もございます。

宿泊取消料 宿泊取消に関わる取消料は以下のとおりです。（宿泊日前日から起算して）

取消日	8日目以前	7～2日目	前日	当日	無連絡不参加
取消料	無料	20%	40%	50%	100%

※大会期間中は、新潟シティマラソン開催と会期が重なるため、ホテルの宿泊が大変取りにくくなっております。インターネット等ご自身で予約される場合は、今すぐの手続きをお勧めします。JTBでも、ある程度のホテルの部屋数を本大会のために確保しておりますが、申込みが遅くなりますと希望に添えられない場合もございますので、どちらもお早めにお手続きをお願いいたします。

(2) 駐車場について

大会1日目新潟青陵大学は、約100台程度の駐車場（無料）が使えます。

大会2日目朱鷺メッセコンベンションセンターは、会場の道路を挟んで向かい側にある駐車場（有料）をご利用ください。1時間300円のところ、終日1000円で利用可能です。その場合、駐車券を受け付けに提示し、駐車場処理を行ってください。

(3) 1日目、新潟青陵大学から懇親会会場までは、無料バスを運行する予定です。徒歩でも移動可能です。（徒歩約25分程度）

(4) パソコン・無線LAN

発表に必要なパソコンは、各自ご用意ください。

会場では、無線LANをお使いいただけます。

(5) 「本総会・研究大会」に参加した証明書は、ピア・サポートトレーナー及びピア・サポートコーディネーターの資格取得および資格更新時のポイントになります。

## 9 今後の通信予定

(1) 総会・研究大会についての詳細は、随時、学会HPにアップします。また、状況によって二次案内等を送付します。申込時にメール配信を希望された方には、メールで送信いたします。

(2) 総会プログラムおよび発表論文集は、9月下旬に会員の皆さまにお送りする予定です。

(3) 事前参加申込み等を振り込まれた方には、領収書と参加章を総会プログラム発表論文集に同封してお送りします。参加章は、総会当日、必ず持参いただき、ご着用ください。

### 【問い合わせ先】

日本ピア・サポート学会 新潟支部  
第13回総会・研究大会 現地実行委員会  
〒950-2022 新潟市西区小針 1-41-10

問い合わせ専用電話番号 090-2477-2196 (担当 中林)

E-mail : [niigata.cocoronet@gmail.com](mailto:niigata.cocoronet@gmail.com)